

本校書道部の生徒の活動が、南日本新聞に掲載されましたので紹介します。

本 新 聞 2023年(令和5年)6月29日

Tシャツ夏まつり応援

薩摩中央高生デザイン 毛筆と町キャラあしらう



デザインを手がけた小西綺音さん(右)と小島脩太郎さん 27日、さつま町虎居

民に熱い鼓動を呼び覚ますような文句を考えたという。

黒地Tシャツの裏面の文句「蘇れ」は小西さんが書き、文字の打ち込みや払いに力強さを持たせた。表面担当の小島さんは、筆でかいた「Resart Satsuma」と町イメージキャラクター「さつままるちゃん」を組み合わせたデザインに仕上げた。

2人はもう1人の部員を加え、6日のステージで書道パフォーマンスも予定する。

「校外での披露は初めてでTシャツに続く大役に緊張すると思うが、書を通じて少しでも地元を盛り上げたい」と話した。

Tシャツは6月30日まで予約を受け付ける。大人用2200円、子ども用1500円。町商工会 0996(53)1141。(山田天真)

さつま町虎居の薩摩中央高校書道部が、8月5、6日に町中心部で開かれる「さつま町夏まつり」のオリジナルTシャツのデザインを手がけた。新型コロナウイルスの影響で4年ぶりの開催に合わせ「蘇れ」さつまの鼓動 今

ここに」としたため、夏の風物詩に花を添える。

町商工会青年部の依頼を受け、書道部が初めてデザインを担当。同町出身で2年の小西綺音さんと小島脩太郎さんが手がけた。小さい頃から慣れ親しんだまつりが、再び町